

田中宏教授略歴

一九三八年 二月 一日

神奈川県生れ

学歴

一九六二年 三月

慶應義塾大学経済学部卒業

一九六四年 三月

慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了

一九六七年 三月

同博士課程修了

一九九〇年

経済学博士（慶應義塾大学）

職歴

一九六七年 四月

慶應義塾大学法学部助手

一九七〇年 四月

同専任講師

一九七四年 四月

同助教

一九八二年 四月

同教授

所属学会

日本経済学会、公共選擇学会、国際政治学会、日本政治学会

田中宏教授主要業績

著編書

- 『インフレーション論』(単編訳) 学文社 一九七八年
- 『政治学の方法とアプローチ』(共著) 学陽書房 一九八四年
- 『国家と権力の経済理論』(単著) 慶應義塾大学出版会 一九九〇年
- 『国家の解剖学』(共著) 日本評論社 一九九六年
- 『政治・社会理論のフロンティア』(共編著) 慶應義塾大学出版会 一九九八年
- 『マクロ経済学入門講義』(単著) 慶應義塾大学出版会 二〇〇二年

論文

- 『体化された技術進歩に関する諸論点』 『三田学会雑誌』 五九卷八号 一九六六年
- 『有効需要、過剰設備および物価水準』 『三田学会雑誌』 六一卷二号 一九六八年
- 『有効需要、過剰設備および物価水準——訂正と補充』 『三田学会雑誌』 六三卷三号 一九七〇年
- 『アメリカ貿易政策の規定因』 『藤原博士記念論文集』 『アメリカの対外政策』 一九七一年
- 『有効需要と資本設備』 『法学研究』 四五卷三号 一九七二年
- 『遊休設備、失業および異質的資本財』 『三田学会雑誌』 六七卷五号 一九七四年
- 『新古典派的投資理論について』 『三田学会雑誌』 七〇卷二号 一九七七年
- 『代議制民主主義と情報のコスト』 『法学研究』 五三卷九号 一九八〇年

藤原博士記念論文集

- 『三田学会雑誌』 五九卷八号 一九六六年
- 『三田学会雑誌』 六一卷二号 一九六八年
- 『三田学会雑誌』 六三卷三号 一九七〇年
- 『藤原博士記念論文集』 『アメリカの対外政策』 一九七一年
- 『法学研究』 四五卷三号 一九七二年
- 『三田学会雑誌』 六七卷五号 一九七四年
- 『三田学会雑誌』 七〇卷二号 一九七七年
- 『法学研究』 五三卷九号 一九八〇年

- 「競争的民主主義における機能不全について」
『法学研究』五四卷六号 一九八一年
- 「市場機構による最小国家生成について」
『法学研究』五五卷一号 一九八二年
- 「インフレーションと失業」
大熊一郎・伊達邦春編『理論経済学』青林書院新社 一九八三年
- 「規範政治学の基礎——ソーシャル・ディレンマとインテンシティー」
慶應義塾創立二二五年記念論文集 法学部政治学関係 一九八三年
- 「合理的選擇と政治理論」
『法学研究』五八卷一〇号 一九八三年
- “Two Views of the Emergence of the Minimal State: The Invisible Hand Explanation v. s
The Social Contract Theory”
Keio Journal of Politics, No. 5, 1984.
- “Towards a Normative Political Theory”
Public Choice Studies, No. 8, 1986.
- 「強制力と比較優位」
『法学研究』六〇卷四号 一九八七年
- 「強制力と差別」
『法学研究』六一卷一号 一九八八年
- 「国家と政治——選擇理論による分析」
『法学研究』六一卷五号 一九八八年
- “Foundations of a Normative Political Theory”
Keio Journal of Politics, No. 6, 1988.
- “Power As Maximizing Behavior”
Behavioral Science, No. 34, 1989.
- 「国家の理論」
『三田学会雑誌』八四卷一号 一九九一年
- 「最適国家の理論」
『法学研究』六五卷七号 一九九二年
- 「共同体と権力」
『法学研究』六八卷一号 一九九五年
- 「政府の役割について」
『法学研究』六九卷一二号 一九九六年
- “Information, Influence and Democracy”
Keio Journal of Politics, No. 10, 1999.
- 「囚人のディレンマ・誰が猫の頸に鈴をつけるのか」
『法学研究』七二卷九号 一九九九年
- 「国家の生成と崩壊——ホップス理論の国際政治への拡張」
『法学研究』七三卷一一号 二〇〇〇年